

公益社団法人 日本鋳造工学会 東海支部
「アルミニウム鋳造講座Ⅱ」開催のご案内

主催 (公社)日本鋳造工学会 東海支部
協賛 (一社)日本鋳造協会 東海支部

日本鋳造工学会東海支部では、全国のアルミニウム合金鋳造に関わる中堅クラスの現場技術者に役立つ実用的な講座としてアルミニウム鋳造講座Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを開催いたします。

なお、本講座は鋳造カレッジ受講前必須受講講座の位置付けにもなっています。

本案内は「アルミニウム鋳造講座Ⅱ」の受講者募集のご案内となります。金型、表面処理、離型剤、塗型材、および**新設の水質や金型内部冷却安定化に関する講義**を行います。本年は**現物を活用した講義**を試みたいと思います。(維持会員担当者様は社内への展開をお願い致します。)

【講義予定】

1. 9:25～9:30 事務局連絡・ご挨拶

2. 9:30～10:40 「離型剤・潤滑剤と金型温度管理」

トヨタ自動車(株) 田端 英二 氏

ダイカストで重要な金型温度管理と潤滑剤・離型剤塗布管理について説明する。

プランジャーチップ潤滑剤は、潤滑剤の機能、種類、供給管理方法、潤滑管理と異常検知法について説明。離型剤は、離型剤の機能と役割、種類、塗布方法、塗布量管理について説明し、油性および水溶性原液少量塗布技術についても紹介する。金型温度管理については、金型温度の製品品質への影響、温度計測方法、温度制御と温度管理方法、金型温度を管理する上での重要項目について解説する。

3. 10:40～12:00 「CAE基盤技術」

トヨタ自動車(株) 小名 国仁 氏

製造業のDX(デジタルトランスフォーメーション)が叫ばれている昨今、モノづくりのデジタル化である「CAE」の重要性は益々高まっている。本講演では、鋳造CAEのベースとなっている流体・熱・構造に関わるCAE技術の基本的な概念を説明するとともに、自動車開発における鋳造CAEの適用事例について紹介する。

「鋳造CAEでどんな結果をみることができるのか」、CAEソフトを操作しながら体験していただくことを予定。

昼休憩 12:00～13:00

4. 13:00～14:00 「アルミニウム鋳物金型鋳造塗型技術」

ディレクトセン房(株) 下村 佳之 氏

重力鋳造や低圧鋳造等の金型鋳造でアルミニウム溶湯が接触する塗型膜について説明する。塗型技術について、塗型剤がどこに使われどのような機能が必要で必要な機能を持たせるには何が必要なのかを、塗型とは、塗型基本特性、塗型施工と施工道具、鋳造と塗型の関係、塗型と鋳造不良についてなどの項目で説明する。**現地にて塗型施工済みのテストピースやテスト試験後の鋳物等展示**予定。

5. 14:00～15:15 「ダイカスト金型とそのメンテナンス」

SSK DCTech 佐々木 英人 氏

ダイカスト金型の焼付き、ヒートチェック、型割れの豊富な技術資料を用いて説明し、トラブル対策方法を解説。

焼付きについて、発生事例、製品設計、反応層分析、発生温度、防止温度条件から、表面処理、冷却方案、冷却水管理、内冷孔管理、流量管理と対策について解説。ヒートチェック・型割れについて、事例、金型材料の種類、調整方法、熱処理条件、加工方法の影響を説明、放電加工、ショットピーニング、材料熱処理、改質、表面処理と対策方法の詳細を紹介する。

6. 15:30～16:30 「鋳造で使用する水について」

人材育成委員会 古川 雄一 氏

水不足が深刻化する中、**アルミニウム合金鋳造で使用する水について、国内外の事例**により学ぶ。離型剤の希釈水、製品冷却、金型内部冷却等の鋳造で使用する水全般について実践的な知見を習得する。

7. 閉会 (16:30～16:50)

日時 **2024年8月22日(木) 9:25～16:50**

※出欠確認をとりますので、開始10分前(9:15)までにご入室いただきますようお願いいたします。

場所 **刈谷シャインズ 3Fホール**

愛知県刈谷市東陽町二丁目18番地 (TEL: 0566-24-3348)

J R刈谷駅南口より徒歩7分(次項地図) (詳細は <http://www.shines-shokki.jp/> を参照下さい)

開催方式 **ハイブリット形式**（現地参加 or Web参加 のどちらかを選択の上、お申し込みください）

※開催形式は、開催時期の新型コロナウイルス感染症の流行状況により変更する場合がございます。

定員 ■**現地参加：64名（定員になり次第締め切らせていただきます）**

■**Web参加：100名程度**

参加料 ・**（公社）日本鑄造工学会の個人正会員、維持会員企業：3,000円／人**

・**学生会員：無料**

・**鑄造工学会 非会員：20,000円／人（入会手続きを行い会員資格での参加がお得です）**

送金は、**8月22日（木）**までにお願ひします。

申込方法 東海支部ホームページ（<https://jfs-tokai.jp/>）より「講演会情報」にアクセスいただき、本講座の会告ページより、**8/9（金）まで**にお申し込みください。

<現地参加申込みの方へ>

・会告ページに記載の申込みフォームよりお申し込みください。

なお、申し込みは先着順とさせていただきます、定員(64名)に達した場合は、

Web参加に変更となりますので、あらかじめご了承ください。

<Web参加申込みの方へ>

・会告ページに記載のZoomミーティング登録ページのリンクよりお申し込みください。

・参加料の入金確認後、zoomミーティング IDおよびパスワードをe-mailにてご連絡致します。

【テキストの配布について】

現地およびWEB参加共にテキストの配布はありません。サイトにアクセスしDLする方法とします。

参加費の入金確認後、開催7日前頃、テキスト閲覧サイトのパスワードをe-mailにてご連絡致します。

【Web参加時の注意事項】

・講習会参加のために、インターネット環境、メールアドレスが必要です。通信費は参加者負担となります。

・本人確認を行うため、Webカメラ（PC、タブレット、スマホ付属のもので可）での顔出しを参加の条件とします。

※講習会当日に、受講者本人の顔出し確認ができない場合は、講習会からご退出いただきますので、あらかじめご了承ください。この場合、参加料は返金致しかねますので、ご了承ください。

※原則として、受講者1名につき1つのzoomアカウントでの申込みとしますが、セキュリティ環境等により2つのアカウントで入室する場合は、申込時にお知らせください。

※zoomミーティングに入室後、参加者名の変更をお願いします。

設定方法は、別紙「zoom操作手順書 3. 講習会のマナー編」をご参照願ひします。

・同じメールアドレスで複数のデバイスから入室できませんのでご了承ください。

・当日は開始30分前から入室ができます。

恐れ入りますが、本人確認を行うため、開始10分前(9:15)までに入室いただきますようお願い致します。

※申込み〆切以降のキャンセルは返金致しませんので、予めご了承ください。

※他支部からの参加も歓迎致します。

問合せ先 〒471-8571 愛知県豊田市トヨタ町1番地

トヨタ自動車株式会社 素形材技術部 基盤開発室内

(公社)日本鑄造工学会東海支部 事務局 小林光・岡田

TEL：080-6986-6361 FAX：0565-23-5775

E-MAIL：mn-jfs-tokai@mail.toyota.co.jp

送金方法 銀行振込 三菱UFJ銀行金山支店 普通預金口座 支店番号 288

口座番号 1262063 (公社)日本鑄造工学会東海支部 (社)ニホチリウツウウカツカイトウカイシブ

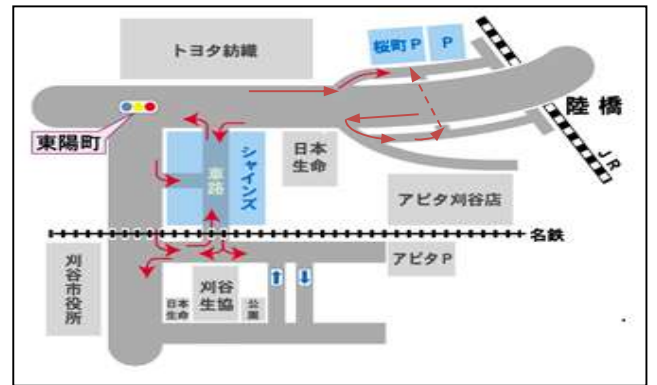
(領収書は、銀行の振込受領書を持ってかえさせていただきます。振込手数料は、ご負担願ひします。)

*尚、「アルミニウム鑄造講座Ⅰ～Ⅲ」全てを受講された方は、

(一社)日本鑄造協会主催の(公社)日本鑄造工学会連携「鑄造カレッジ」の非鉄コースを受講することが出来ます。

<http://www.foundry.jp/chuzocollege.html>

【会場案内図】 刈谷シャインズ



＜駐車場について＞

- ・お車で来られる方は、桜町 P に駐車下さい

＜昼食について＞

- ・シャインズ内レストラン、または周辺の飲食店をご利用ください
- ・会場内での飲食も可能です